

■ 国内大会

(国内大会の年度は、11～63年度が「昭和」、H1年～30年度が「平成」、2019年度からは主催に準じ西暦もしくは「令和」で表す)

全日本卓球選手権大会

◆ジュニアの部

年度	開催地	男子ジュニア	女子ジュニア
25年	諏訪	竹内 修 (埼玉)	神谷 節子 (愛知)
26年	京都	関原 武 (兵庫)	川口沙智子 (静岡)
27年	徳島	坂本 昇 (兵庫)	一井 玲子 (京都)
28年	奈良	坂本 昇 (兵庫)	難波多慧子 (兵庫)
29年	横須賀	成田 静司 (青森)	亀井 敬子 (兵庫)
30年	東京	中西 義治 (東京)	設楽 義子 (山形)
31年	東京	米田 従道 (富山)	小川 節子 (埼玉)
32年	東京	渡辺 匡啓 (山形)	藤井紀代子 (山口)
33年	大宮	瀬川 栄次 (京都)	吉田たみ子 (静岡)
34年	東京	大橋 紘明 (北海道)	山中 教子 (京都)
35年	東京	有本 登 (愛知)	黒崎南海子 (栃木)
36年	東京	根村 猛 (東京)	深津 尚子 (愛知)
37年	東京	馬場 園憲 (愛知)	富田 洋子 (愛知)
38年	東京	石井 清彦 (東京)	大島 洋子 (栃木)
39年	東京	河野 満 (青森)	阪本 義枝 (大阪)
40年	東京	仲村渠 功 (大阪)	大関 行江 (大阪)
41年	名古屋	高橋 行光 (京都)	村上 静代 (大阪)
42年	名古屋	古賀 法男 (福岡)	中村 洋子 (青森)
43年	名古屋	村上 博巳 (京都)	大関 政江 (東京)
44年	東京	田村 隆 (大阪)	横田 幸子 (栃木)
45年	伊勢	黒田 享 (福岡)	猪狩 栄子 (神奈川)
46年	東京	久世 雅之 (大阪)	内田 恒代 (大阪)
47年	名古屋	阿部 博幸 (大阪)	内田 恒代 (大阪)
48年	東京	天野 悟 (福岡)	高橋 紀子 (群馬)
49年	東京	清水 正夫 (埼玉)	松田 一三 (愛媛)
50年	東京	村松 新吾 (埼玉)	川東加代子 (福岡)
51年	東京	竹之内君明 (埼玉)	田村 友子 (愛媛)

年度	開催地	男子ジュニア	女子ジュニア
52年	東京	吉浦 忠行 (福岡)	岩田 浩子 (長野)
53年	東京	福田 可信 (京都)	小西 淑子 (岩手)
54年	東京	齋藤 清 (埼玉)	漆尾ゆりえ (福岡)
55年	東京	野尻 俊宣 (埼玉)	福田 法子 (栃木)
56年	東京	池田 研一 (鹿児島)	細矢 順子 (神奈川)
57年	東京	小林 智之 (神奈川)	橘川 美紀 (神奈川)
58年	東京	岩崎 清信 (埼玉)	室重 明世 (山口)
59年	東京	伊藤 誠 (青森)	内山 京子 (神奈川)
60年	東京	西川 雅也 (京都)	内山 京子 (神奈川)
61年	東京	矢島 淑雄 (埼玉)	吉田 静子 (京都)
62年	東京	徳村 智彦 (宮崎)	佐藤 利香 (神奈川)
63年	東京	平 亮太 (埼玉)	佐藤 利香 (神奈川)
H1年	東京	森本 洋治 (大阪)	河合 雅世 (神奈川)
2年	東京	今枝 一郎 (愛知)	大島 美絵 (栃木)
3年	東京	仲村錦治郎 (高知)	松岡 りか (大阪)
4年	東京	村上 裕和 (埼玉)	西飯 由香 (三重)
5年	東京	遊澤 亮 (大阪)	河野 文江 (神奈川)
6年	東京	真田 浩二 (愛知)	辻本 理恵 (大阪)
7年	東京	真田 浩二 (愛知)	川越 真由 (大阪)
8年	東京	谷口 祐二 (大阪)	武田 明子 (大阪)
9年	東京	柳田 敏則 (大阪)	小西 杏 (大阪)
10年	東京	三田村宗明 (青森)	藤沼 亜衣 (大阪)
11年	東京	坂本 竜介 (青森)	藤井 寛子 (大阪)
12年	名古屋	高木和健一 (青森)	平野早矢香 (宮城)
13年	東京	高木和健一 (青森)	福原 愛 (大阪)
14年	東京	岸川 聖也 (宮城)	福原 愛 (青森)
15年	東京	水谷 隼 (青森)	福原 愛 (青森)

年度	開催地	男子ジュニア	女子ジュニア
16年	東京	高木和 卓 (青森)	石塚美和子 (大阪)
17年	東京	水谷 隼 (青森)	照井 萌美 (宮城)
18年	東京	水谷 隼 (青森)	石川 佳純 (大阪)
19年	東京	上田 仁 (青森)	石川 佳純 (大阪)
20年	東京	上田 仁 (青森)	石川 佳純 (大阪)
21年	東京	丹羽 孝希 (青森)	石川 佳純 (大阪)
22年	東京	丹羽 孝希 (青森)	三宅菜津美 (岡山)
23年	東京	丹羽 孝希 (青森)	谷岡あゆか (東京)
24年	東京	森蘭 政崇 (青森)	松平 志穂 (大阪)
25年	東京	吉村 和弘 (山口)	加藤 美優 (東京)
26年	東京	及川 瑞基 (青森)	伊藤 美誠 (大阪)
27年	東京	木造 勇人 (愛知)	浜本 由惟 (東京)
28年	東京	木造 勇人 (愛知)	笹尾明日香 (神奈川)
29年	東京	張本 智和 (東京)	長崎 美柚 (東京)
30年	大阪	戸上 隼輔 (山口)	出澤 杏佳 (茨城)

※平成30年度までは、大会名に開催年度を用いた。

2019年度からは、大会名に開催年を用いた。

年	開催地	男子ジュニア	女子ジュニア
2020年	大阪	吉山 僚一 (愛知)	大藤 沙月 (大阪)
2021年	大阪	濱田 一輝 (愛知)	大藤 沙月 (大阪)
2022年	東京	吉山 僚一 (愛知)	木原 美悠 (東京)
2023年	東京	萩原 啓至 (愛知)	張本 美和 (神奈川)
2024年	東京	松島 輝空 (神奈川)	張本 美和 (神奈川)
2025年	東京	吉山 和希 (埼玉)	張本 美和 (神奈川)
2026年	東京	川上 流星 (神奈川)	張本 美和 (神奈川)